

言語研究センター共同研究グループ

(1991. 6. 10調査)

◎帰国子女の言語習得・喪失・再習得過程

帰国子女の英語習得・喪失・再習得過程を、帰国子女に対する基礎調査と帰国子女の研究授業の二面から分析して、効果的な言語教授法およびカリキュラムを考察する。

○メンバー〔上條雅子・伊藤克敏・石黒敏明〕

◎英語教育研究

外国語習得の原理、外国語能力の要素、外国語の効果的指導の諸条件、学習上の困難点、教師の理想像などを明らかにし、従来の諸外国語教授法を比較検討する。

○メンバー〔伊藤克敏・石黒敏明・上條雅子・水野光晴〕

◎コンピュータ利用の語学教育

外国語（当面は英語）教育および研究におけるパソコン活用の可能性を探る。

(1)英語力検定（TOEFL 等）問題演習用プログラムを開発する。

(2)パソコン通信の活用法を探る。

(3)パソコンの使用法を学生に指導する。

(4)教育・研究用データベースのあり方を探る。

○メンバー〔疋田三良・保崎則雄〕

◎冠詞の研究

有冠詞諸言語の哲学的、心理学的考察、冠詞相互の意味領域の分析、言語使用の際の冠詞の選択原理などの解明、有冠詞言語と無冠詞言語の比較研究などを行う。

○メンバー〔水野光晴・倉田 清〕

◎教授メディア研究

教育メディアが学習効果に与える影響。

外国語教育の学習におけるインターアクティブビデオの効果的利用。

○メンバー〔小池栄一・保崎則雄・水野光晴〕

◎企業内語学教育

企業内研修ニーズ調査分析。

メンバー〔田久保浩平・デビット ハフ（学外）〕